



やかんでお湯をわかすとき、どうしてあわが出るの

空気と水蒸気のアワ

やかんでお湯をわかすと、水の温度はしだいに上がっていき、やかんの底に小さなアワがつき、このアワは、水面にうかんで消えてしまいます。これは、水の中にとけていた空気のアワです。やがて、やかんの底からポコポコと音を立てながら、大きなアワが出るようになります。このとき、水はふっとうしています。

水がふっとうしているときに出ているアワは、水が気体になった水蒸気のアワです。やかんの中から出ている大きなアワは、水蒸気のアワです。

水は温度によって姿が変わる

水はふつうの温度では、液体です。水は0℃以下に冷やされると、氷（固体）に変わります。また、水が蒸発するときや、水を熱したときには、水蒸気（気体）に変わっていきます。このように、水は温度によって、その姿が変わります。（監修・小川 格）

